



荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 鎌田博一
編集責任者 佐藤敏幸

No.1838

2020年
1月5日

2020年

組織強化・拡大と 全力をあげよう! 労働条件改善に

組合員・家族の皆さま、新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、地方本部を代表しご挨拶を申し上げます。

はじめに、最重要課題である組織強化・拡大の取り組みについてです。

地方本部は今日まで、「組織拡大・全国統一行動」を「本部闘争指令」に基づき各級機関での意志統一を重ね、粘り強く取り組んで参りました。その到達点として、JR東日本・JR貨物会社との一括和解以降141名の新たな仲間を国労に迎え入れることができました。これまで御奮闘された各級機関・組合員の全ての皆さまに厚く御礼を申し上げます。



安全で安心して働ける職場を 執行委員長 鎌田博一

苦悩しながらも、職場で全ての仲間に信頼される労働組合としての国労を選択してもらえらるために、職場や仕事の中心軸となり、共に働く仲間の声を大切に、世話役活動をはじめ職場改善を求める分会・班・職場活動の継続した取り組みが確実に「拡大」へ結びついたのであります。

現在、JR東日本内では親睦団体・社友会の組織化が進み、労組未加入者が大半を占める状態が定着しつつあります。昨年の過半数代表者選挙では、国労組合員が約150もの事業所で立候補し、グループ会社を含めて一昨年を上回る国労組合員が代表に選出され、代表に至らずとも組合員数以上の支持を得る中で安全衛生委員に指名された職場も出ています。

組織拡大の諸条件は職場にあり、機関運動の活性化と強化を図る中から拡大の気運を一段と高め、全ての闘いを組織強化・拡大運動に集約することが切に求められて

います。また、国労として急務な課題である次世代に国労運動を継承する責務を果たすために、具体的な実践活動を着実に強化していかなければなりません。

国労組織の命運をかけたこの一年、総体的な力量を高め、全機関が一丸となり全労働者の組織化に向け邁進するために、共に奮闘し合うことを全組合員に強く訴えます。

次に、安全・安定輸送の確立と職場労働条件改善を求める取り組みについてです。

JR発足から三二年が経過した今も、重大事故とインシデントの多発、大規模な輸送障害などが続発しています。同時に、グループ経営ビジョン「変革2027」の策定をはじめ「乗務員勤務制度の改正」に伴う「新たなジョブローテーションの実施」や「ワンマン運転の拡大」「保線メンテナンス最適化」や「駅業務委託・遠隔操作」等々、相次ぐ効率化施策の中で、全ての職場において労働密度が高まり、慢性的な要員不足と労働条件の劣悪化が拡大し、安全で安心して働き続けることが出来ない深刻な事態に直面しています。

JR貨物会社においても、新人事賃金制度導入をはじめコストダウンの推進や働き度の向上を推し進め、JRバス会社では、長時間拘束・不規則勤務・要員不足が続き健康破壊として表面化しています。

安全・安定輸送の確立は、公共交通を担う輸送機関としての社会的使命であるだけに、安全が最優先される企業文化の定着と職場における日々検証する適切なチェック体制を強めるなど、労働組合の役割を果たしていくことが極めて重要になっていきます。

JR各社・グループ企業などで働く全ての労働者が「安全・安心して働ける職場づくり」を築くためにも、「安全・仕事総点検運動」を全職場から強化し、業務委託体制の検証、事故再発防止のための適正な人員配置や技術継承、人材育成と教育・訓練の充実など、抜本的な安全対策と労働条件改善に向け、全

力を挙げていかなければなりません。

次に、安倍反動政治と平和と民主主義の課題についてです。

安倍首相は、昨年の第200回臨時国会後の記者会見の場で、「1月の通常国会の憲法審査会で、与野党の枠を超えた議論を通じ、憲法改正原案の策定を加速させたい」「憲法改正は、私自身の手で成し遂げたい」と明言し、「地方組織や講演会を総動員すれば国民の理解は得られる」と改憲世論喚起の取り組みを指示し、改憲実現への強い執念を示しています。

同時に、朝鮮人慰安婦問題や徴用工問題の根本的解決に背を向けて過去の歴史に目をむき、敵対的な外交政策を展開することなく、沖繩・辺野古新基地建設を断念することなく、一貫して沖繩県民の民意と心情を踏みにじるなど「戦争国家日本」に向けた暴挙を一段と強めようとしています。

また、森友・加計問題をはじめ公文書改ざんやデータねつ造、内閣主催の私物化した「桜を見る会」を巡る疑惑、大臣の政治とカネの不祥事などの腐敗政治を繰り返し、原発推進

行と社会保障費削減など、さらなる反動政治に国民の怒りは頂点に達しています

緊迫する諸情勢の中で、憲法の三原則である「国民主権・平和主義・基本的人権の尊重」を堅持するために、職場・地域の全ての力を総結集させ総力を挙げ連帯行動を強めていかなければなりません。

最後に2020年春闘は、安心して生活できる賃上げ要求の実現を柱に、安全・安定輸送の確立と職場労働条件改善、組織強化・拡大の取り組み等と固く結合させ全組合員が参画する春闘として確立しなければなりません。職場からの春闘再生と闘う春闘の再構築に向け奮闘する決意です。

組合員・家族の皆さまと共に全力を挙げていくことを申し上げ、新年のご挨拶と致します。



執行委員長	鎌田 博一
執行副委員長	山田 博樹
書記長	石井 正彦
財政部長	田中 克幸
教宣部長	佐藤 敏幸
組織・政治部長	横倉 一夫
法対部長	矢部 雄一
調査部長	松田 恭明
福対部長	高瀬 弘人
会計監査員	吉田 茂
”	森 真次
”	西尾 一登
青年部長	宮下 直樹
書記局	新井 清一
”	井口 栄子
【国労東京議員団】	
団 長	青山 秀雄
【国労家族会東京地方連合会】	
会 長	丸山みどり
【鉄道退職者会東京地方連合会】	
会 長	細岡 寛司

